

東京都立淵江高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目	数学・発展数学	単位数	4	対象学年・組	第3学年必修選択(2) 第3学年自由選択(2)
使用教科書	加地				
使用教材					

学期	月	予定 時数	指導内容		具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学 期	4	40	1章 数と式 式の 1節 計算	1 整式	2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的に見たり目的に応じて式を適切に変形したりする。	関心・意欲・態度 数学的な見方や考え 表現・処理 知識・理解 の4観点を、 授業中の活動状況 課題等提出物の内容 確認テストの達成度合 定期考査の成績 によって 総合的に評価する。
	5			2 整式の加法・減法・乗法		
	6			3 因数分解		
	7		1 実数	2 根号を含む式の計算	数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をする。	
2 学 期	9	39	2章 2次関数 その 2次 関数 と 1節 グラフ	1 不等式の性質	不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めたり1次不等式を事象の考察に活用したりする。	
	10			2 1次不等式		
	11			3 1次不等式の応用		
12	1 関数	事象から2次関数で表される関係を見出す。また、2次関数のグラフの特徴について理解する。2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりする。				
3 学 期	1	18	3章 図形と計量 2次 方程式 と 2節 2次 不等式	2 2次関数	2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解すると共に、数量の関係を2次不等式で表し2次関数のグラフを利用してその解を求める。	
	2			3 2次関数の最大・最小		
	2			4 2次関数の決定		
	1		1 2次方程式	2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解すると共に、数量の関係を2次不等式で表し2次関数のグラフを利用してその解を求める。		
	2		2 2次関数のグラフとx軸の共有点			
	2		3 2次不等式			
3 学 期	1	18	3章 図形と計量 鋭角 の 1節 三角 比	1 直角三角形と三角比	鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。	
	2			2 直角三角形の辺と角		
	2			3 三角比の相互関係		
	2		1 三角比と座標	三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める。		
3 学 期	1	18	3章 図形と計量 三角 比の 2節 拡張 の	2 三角比の性質	三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める。	
	2			1 正弦定理		
3 学 期	2	18	3章 図形と計量 三角 形へ の 3節 応用	2 余弦定理	正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める。	
	2			3 三角形の面積		
	2			4 空間図形の計量		
	2			4 空間図形の計量		